

「バリア」の逆は「ありば」。  
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。  
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

# ありば

VOL. 47  
2024



表紙 / カラフルな魚たち 本村実希 (ほんむら みぎ) さんの作品

本作品は、就労継続支援B型事業所 Lanka (鹿屋市) を利用している本村実希さん (37歳) の作品です。画像を参考にしながら描き始め、魚の模様や背景などにオリジナリティを加え、クレヨンで試行錯誤しながら「海のきれいさを表現したい。」との思いで描きあげたそうです。

本村さんは、Lanka 利用当初から積極的にアート活動に取り組んでおり、「かごしまママ」(2022年開催の第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会マスコットキャラクター) のデザインは一般公募 293点の中から採用されました。これからも、県内外の芸術祭・展覧会への出展や、「大きいサイズの画用紙にクレヨンで大きくリアルな絵を追求して描いてみたい。」と意気込んでいます。



本村さん 自画像

NPO法人 Lanka / 鹿屋市北田町 11132 - 1

Lanka では、チョコレート製造・販売業務やアート活動を通じて、障害者の就労支援を目指しています。

## CONTENTS

### [特集]

燃ゆる感動かごしま大会を終えて

PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント

上園 真吾さん

PAGE 3

ありば通心

古民家カフェ「ちょこっと」

PAGE 4

ハードルを越えて

山口 乃愛さん

PAGE 5

### バリアフリー最前線

奄美大島世界遺産センター  
心の輪を広げる障害者理解促進事業

PAGE 6

### 鹿児島県からのお知らせ

- ・世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間
- ・合理的配慮の提供の義務化
- ・鹿児島県身障者用駐車場利用証制度
- ・障害者の相談窓口を設置しています!

PAGE 7

